

令和4年度9月補正予算（第1次追加分）の概要

令和4年10月3日

1 予算規模（一般会計）

補正額	1, 461百万円
補正後	394, 777百万円（前年度同期 387, 644百万円）
補正前	393, 316百万円
	〔財源 国庫支出金 1, 461百万円〕
	※9月補正総額 15, 419百万円

2 主な内容

コロナ禍に物価高・円安等が加わる厳しい情勢に鑑み、政府において予備費3.5兆円の支出を決定するとともに、社会経済の再生に向けて、全国旅行支援を開始する方針が示された。

この予備費により増額された地方創生臨時交付金を最大限活用して、コロナ禍における物価高騰や円安の進行に直面する本県経済社会の再生・振興を果たすべく、医療・社会福祉・保育施設等における光熱費・食材費高騰に対する支援、深刻化が懸念される孤独・孤立に悩む方々への相談窓口の設置、経営圧迫が懸念される中小企業者への支援の拡大などを行う。さらに、全国を対象としたウェルカニキャンペーンの強化や「食のみやこ鳥取県」のバージョンアップなど、観光と食の展開を図る。

3 事業概要

・医療・社会福祉・保育施設等物価高騰対策支援事業 800,000千円

医療機関、社会福祉施設、保育施設等は、物価高騰に伴い、光熱費や食材費の負担が急激に増えている一方、収入は原則公定価格で決まっているなど、高騰分を価格転嫁できないことから、緊急的な支援を実施する。（医療政策課）

・孤独・孤立に関する相談窓口設置事業 9,900千円

コロナ禍の長期化に加え、エネルギー・食料品価格高騰の影響を受けた所得減少や失業等による生活困窮者をはじめ、孤独・孤立に悩む方々への支援を充実するため、新たに相談窓口を設置し、各相談窓口や支援機関等との連携を図る。（福祉保健課）

・県内事業者向け円安・物価高騰対策緊急支援事業 103,000千円

（※融資枠40億円追加）

急速に円安が進む中、エネルギー・原材料等の価格高騰による経営圧迫が懸念されるため、県内中小企業者向けの実質無利子化融資枠の拡大、複数事業者等が「円安・物価高騰対策専門サポート窓口」等を活用しながら実施する共同調達、仕入れ先転換、業務効率化への支援等を行う。（企業支援課）

・滞留原木保管等緊急支援事業 20,000千円

コロナ禍の長期化に加え、円安・物価高騰の影響等により国内木材需要が停滞する一方、原木出荷はこれからピークとなり、県産原木が滞留する懸念があるため、県内森林組合等が行う原木の一時保管等の経費を支援する。（県産材・林産振興課）

・**蟹取県ウェルカニキャンペーン強化事業** **500,000千円**

全国旅行支援の開始に伴い、全国的に高まる観光需要を取り込むため、新型コロナウイルスの感染状況等に応じて、本県独自の観光誘客キャンペーン「ウェルカニとっとり得々割」を実施する。
(観光戦略課)

・**「食のみやこ鳥取県」バージョンアップ事業** **28,000千円**

全国旅行支援の開始など、新たな人の流れを踏まえた「食のみやこ鳥取県」の新展開を図るため、副業兼業プロジェクトの枠組み等により食に精通するプロフェッショナル人材を活用し、県内飲食店等に対するセミナーの開催や新商品開発・情報発信など新たな店づくり、さらには海外販路開拓に対する支援等を強化する。
(食のみやこ推進課)